

# 令和4(2022)年度 施政方針

市長が議会で、その年の1年間の市政運営の方向性を示す「施政方針」。2月議会で、市長が述べた施政方針演説を紹介します。  
令和4(2022)年度の事業内容は、6～9ページをご覧ください。

市民の皆さまが  
より一層の  
安心や幸せを  
感じるまちを目指して

## はじめに

令和4(2022)年度当初予算をご審議いただくに当たり、柏崎市民の皆さま、市民の代表たる柏崎市議会の皆さまに施政方針を申し述べます。

新型コロナウイルス。2年前、パンデミックという言葉がどこか他人事のように思われておりました。その後の猛威、まん延。正に世界がパンデミックの渦中にあり、柏崎もその例外ではありません。この間、市民の皆さまからいただいたご理解とご協力、医療関係者の懸命なお力添えに心より感謝申し上げます。

今年、令和4(2022)年は田中角栄首相と周恩来首相による日中国交正常化から50年、小泉純一郎首相と金正日国防委員長との日朝平壤宣言から20年の節目の年であります。それぞれ国家間の問題ではありますが、周首相の郷里<sup>わいあん</sup>淮安市との友好を保ち、また拉致問題の完全解決を求めている柏崎市といたしましても大きな関心を寄せるところであります。

我が国の経済、国民生活の基盤となるエネルギー問題に関しましても、昨年10月に決定された国の第6次エネルギー基本計画の実質的な初年度となります。原子力発電所再稼働の問題も再度話題となります。

国際問題、また国家的課題にも関与を余儀なくされる柏崎市であります。今、目の前の二つの領域において、強い危機感を抱いております。

一つは、人口減少であります。平成7(1995)年において合併前の西山町、高柳町の人口を加えた人口は、101,427人を数えました。本年、令和4(2022)年1月末における人口は、住民基本台帳に基づきますと80,174人、この3月末には7万人台になると推定されます。出生数は平成12(2000)年に832人であったものが、令和3(2021)年は377人でありました。

もう一つは、非常に急激な産業構造の変換であります。柏崎の基幹産業は製造業であります。そして、その中心にあったのは自動車内燃機関の部品製造でありました。しかし、ヨーロッパから始まったEV電気自動車へのシフトは、中国、北米へと伝播し、

日本もその例外ではありません。

令和 3 (2021) 年 1 月、当時の菅義偉首相が施政方針演説で「2035 年までに新車販売で電動車 100% を実現する」と述べました。

生産台数において世界最大の日本のトップメーカーは昨年 12 月、数カ月前まで掲げていた EV、FCV 生産台数目標値 200 万台を、約 1.8 倍にし、2030 年、EV だけで 350 万台といたしました。もちろん、発表の前月、11 月に開催された国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議 (COP26) や地球温暖化防止対応、キーワード「グリーン」対応であります。水素エンジンという可能性を含めても従来型の取り組みではあっという間に取り残されてしまいます。

人口減少、産業構造の変換、いずれにしても「今までどおり」が通じる時代ではなくなったのです。

このような時代背景、危機感の下に、まず、本市においては、新型コロナウイルス感染症への対応を最優先としながらも、今年度を初年度とする第五次総合計画後期基本計画を着実に推進するための予算編成としました。

後期基本計画におけるポイントは、一つ目が、計画の期間を5年間から4年間に変更したこと。二つ目は、重点戦略を2点に絞ったこと。三つ目は、地区別に約30年後までの将来人口予測をお示ししたこと。以上の3点であります。

後期基本計画での4年間、重点戦略を「子どもを取り巻く環境の充実」、「大変革期を乗り越える産業イノベーションの推進」の二つに絞り、人口が減っても、市民の皆さまがより一層の安心や幸せを感じていただけるようなまちを目指してまいります。

(中略) ※重点施策は6～9ページに掲載。

## むすび

柏崎市には、エネルギー施策、環境施策、教育施策等、長年、常に他の自治体に先んじてきたという<sup>きょうじ</sup>矜持があります。あらゆることにさまざまな意見が顕在し、評価が分かれる時代です。しかし、議論の後、決定がなされなければなりません。そして、そのタイミングは決して猶予を与えてくれるものではなく、<sup>ちゅうちよ</sup>躊躇することは許されない時代であります。

私は、先人が積み重ねてきた歴史・伝統を大切なものとし、かつ、そこにとどまらず、より良いもの、より豊かなものを求める「保守、そして進取」の精神を忘れることなく、「強く やさしい柏崎」をつくってまいります。

お叱りを賜りながらも私が先頭に立ちます。皆さまと難儀を共有し、物事を決め、その責任を私が担います。

むすびに明治の時代より愛唱されてきたイギリスの詩人シェリーの詩の一節を皆さんと共有したいと思います。

If Winter comes, can Spring be far behind ?  
(冬来りなば春遠からじ)

柏崎市民の皆さま、市民の代表たる柏崎市議会の皆さまのご理解とお力添えを心よりお願い申し上げます、施政方針といたします。



◀施政方針の全文は、市ホームページをご覧ください。

☎総務課 TEL21-2330 FAX22-5904



# 令和4(2022)年度予算がスタート

固財政管理課 TEL21-2364 FAX22-5903

## 一般会計予算は481億円(前年度比1.3%増)

令和4(2022)年度予算額は、前年度当初に比べ6億円、1.3%増の481億円となりました。

なお、借換債(※)を除く実質的な予算額は479億2,687万円となり、前年度当初に比べ約9億7,000万円、2.1%の増となります。

※借換債…安定調達と金利変動の観点から、地方債の残高を一定期間後に全額返済し、同額を再度借り入れる地方債のこと。

## 一般会計予算 歳入 —法人市民税は前年度比23.7%の増

### 市税は前年度から2.6%増の147億3,045万円

前年度の実績や国・県税の動向、景況などを踏まえ、個人市民税(現年度分)は5.6%増、法人市民税は23.7%増とし、市民税(現年度分)全体では7.8%増の43億2,071万円と見込みました。

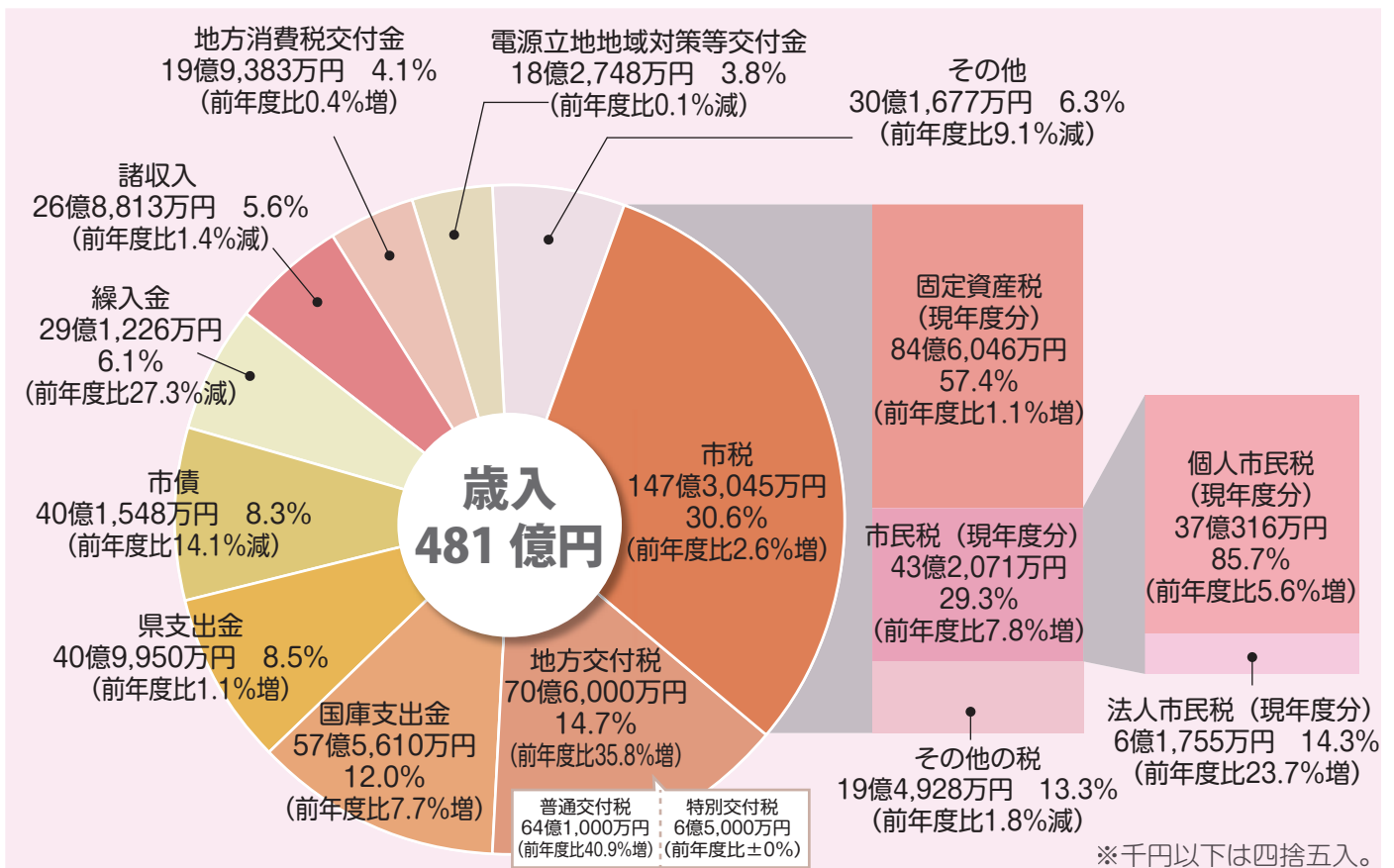
固定資産税(現年度分)は、土地は地価の下落が続いていること、家屋は前年の新增築や滅失の状況を踏まえてそれぞれ減と見込んだ一方、償却資産は事業収入が減少した中小企業者に対する減額措置が前年度限りのため増と見込み、固定資産税(現年度分)全体として1.1%増の84億6,046万円を見込みました。

使用済核燃料税は、前年度と同額の7億4,673万円を見込みました。

### 地方交付税は前年度比35.8%増の70億6,000万円

国から交付される地方交付税のうち普通交付税は、前年度比40.9%増の64億1,000万円を、特別交付税は、近年の交付実績から前年度と同額の6億5,000万円を見込みました。

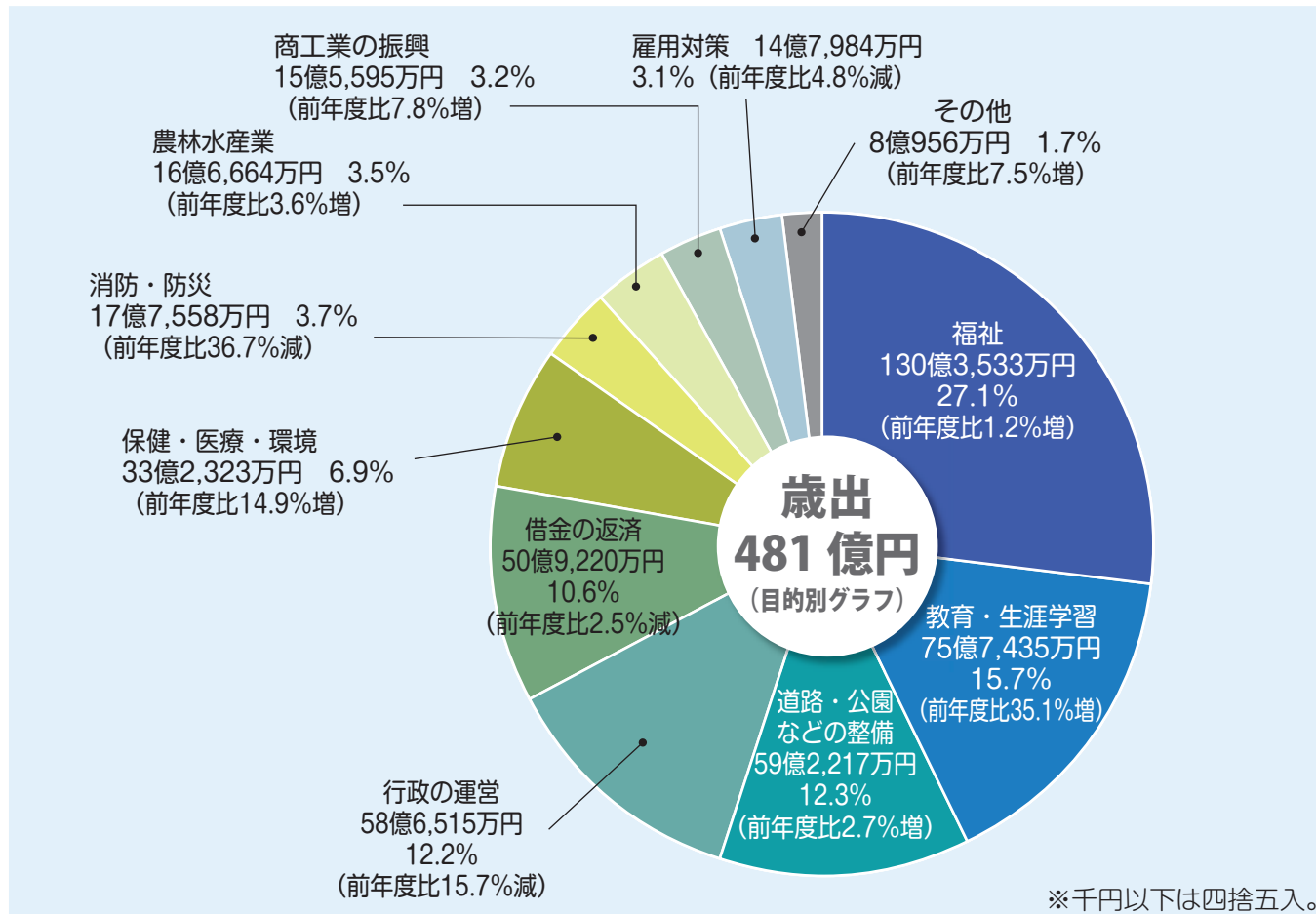
普通交付税の代替財源である臨時財政対策債は、国が策定した地方財政計画を踏まえて、前年度比73.9%減の6億円としました。



# 一般会計予算 歳出

「子どもを取り巻く環境の充実」と「大変革期を乗り越える産業イノベーションの推進」へ強力に取り組む

第五次総合計画後期基本計画の重点戦略である「子どもを取り巻く環境の充実」と「大変革期を乗り越える産業イノベーションの推進」に強力に取り組みます。また、感染症の収束がまだ見えないことから、引き続き感染症対策に注力する他、人口減少時代においても活力を維持するために人材の育成・確保対策を積極的に進めていくとともに、医療・介護・福祉への取り組み、防災対策、DX(デジタルトランスフォーメーション)などの事業を着実に推進していきます。



## 特別会計は194億円(前年度比0.5%増) 企業会計は150億6,000万円(前年度比2.2%増)

各会計の内訳は、下の表の通りです。

事業名	金額(億円)	増減率(%)
国民健康保険事業	88億691万円	(+ 1.1%)
事業勘定	84億5,393万円	(+ 1.1%)
直営診療施設勘定	3億5,298万円	(- 1.1%)
後期高齢者医療	10億4,499万円	(+ 3.0%)
介護保険	94億3,575万円	(- 0.1%)
土地取得事業	1億289万円	(- 13.5%)
墓園事業	863万円	(- 2.5%)
計	193億9,919万円	(+ 0.5%)

事業名	金額(億円)	増減率(%)
水道事業	63億3,437万円	(+ 11.7%)
下水道事業	87億2,497万円	(- 3.8%)
計	150億5,935万円	(+ 2.2%)

※端数処理の関係で計算結果に相違があります。  
※千円以下を切り捨てした金額を表記しています。

# 令和4(2022)年度 重点施策 (一部抜粋)

※千円以下を切り捨てた金額を表記しています。

## ■子どもを取り巻く環境の充実

### 【新規事業】

#### 産後支援の充実 510万円

産婦健診と産後ケア事業を行います。

※詳細は、10 ページをご覧ください。



#### 学力向上の推進 366万円

教員が授業改善を図るため、正職員および非常勤職員を配置して支援するとともに、効果的な取り組みを進めるため、学力向上先進校の視察を行います。

### 【拡充事業】

#### 児童クラブの整備 1億401万円

子どもたちが安心安全に過ごし、健全な成長ができるよう、東部児童クラブの施設整備などを行います。

#### 早期療育の取り組み 3,419万円

個々の発達段階や特性に応じた教室プログラムや保護者支援プログラムを行うとともに、関係機関と連携した支援体制を整備します。

#### 子どもの医療費への助成 2億477万円

子育て世帯の負担を軽減するため、通院への医療費助成についても高校卒業時まで拡充し、安心して子育てできる環境を整備します。

#### 公立保育園の整備 6,950万円

市民の保育ニーズに応えるため、公立保育園として必要な施設整備を行うとともに、改築予定の田尻保育園の設計業務などを行います。

#### 病児保育の取り組み 2,316万円

新潟病院および柏崎総合医療センターに病児保育の運営を委託し、働きながら安心して子育てできる環境を整備します。

#### 介助員を特別支援学級に増員 9,508万円

介助員を 37 人 (2 人増員) 配置し、特別支援学級に在籍する児童生徒の学習支援や自立に向けての補助を行います。

#### 指導補助員を増員 1億2,178万円

必要な児童生徒に的確に指導補助を行うため、指導補助員を 45 人 (2 人増員) 配置するとともに、学校教諭の負担軽減のための部活動支援員を前年度と同様に 10 人配置します。また、外国籍児童生徒の就学体制を整備します。

### 【継続事業】

#### 子どもの虐待防止への取り組み 143万円

関係機関の連携強化により児童虐待の発生予防と迅速な対応を行うとともに、関係者の資質向上のための研修や市民に対する講演会を行います。

#### 子育て応援券の発行 2,660万円

3 歳までの子どもがいる世帯に、多様な子育て支援サービスが利用できる子育て応援券を発行します。

#### 私立認定こども園整備への支援 3,380万円

子どもを安心して受け入れる環境整備のため、施設整備を行う私立認定こども園などに補助金を交付します。

#### 子どもの遊び場整備への支援 453万円

町内会などが行う子どもの遊び場の整備経費に補助金を交付します。

#### 屋内遊び場施設利用券の発行 1,184万円

小学 2 年生までの子どもを対象に屋内遊び場施設の施設利用券を発行して、利用料を補助します。

#### 小・中学校のICT環境の維持管理 2億94万円

国の GIGA スクール構想で配備したタブレット端末を維持管理するとともに、ICT 支援員の配置により教育 ICT 環境の充実を図ります。



## ■大変革期を乗り越える 産業イノベーションの推進

### 【新規事業】

#### 再生可能エネルギー発電設備の設置 7億2,210万円

地域エネルギー会社と連携して市公共施設に再生可能エネルギーを供給するため、市の未利用地に太陽光発電設備を設置します。



#### 製造業支援の新たな基金を創設 2億2,200万円

製造業戦略的イノベーション推進基金を創設し、EVシフトや環境エネルギー産業など成長分野への新分野展開、事業転換または業態転換を図る製造業の新事業を支援する財源とします。

### 【拡充事業】

#### 次世代エネルギーの調査 4,478万円

陸上風力発電の可能性を探る簡易風況調査を行うとともに、再生可能エネルギーの導入拡大に向けた国補助金などの財源調整を進めます。

#### 地域エネルギー会社との連携 3,102万円

市の未利用地などの太陽光発電設置可能性調査を行うとともに、地域エネルギー会社と連携した再生可能エネルギーの利活用拡大を進めます。

#### 産業界のデジタルトランスフォーメーションを促進

1,098万円

産学官金で構成する柏崎市 IoT 推進ラボ協議会において、デジタル化に関する個別相談や導入支援を行うとともに、職業能力の再開発やデジタル技術を活用できる若年層の人材開発に取り組めます。

#### 新分野展開・事業転換を図る製造業などを支援

1億5,400万円

自動車・環境エネルギー産業等新分野展開支援補助金を創設し、リスク分散・規模拡大を目指す製造業や、前向きな投資により事業構造改革に取り組む事業者に補助金を交付します。

### 【継続事業】

#### ものづくり産業・情報産業の人材育成を支援 509万円

資格、免許および技能検定の取得費用を助成するとともに、ものづくりマイスターカレッジや高校生インターンシップ事業を支援し、優れた若手技術者の確保・育成を推進します。

#### 新技術・新製品研究開発などへの支援 969万円

知的財産権や国際規格の認証取得、新技術・新製品の研究開発に助成金を交付し、製品の高付加価値化と企業ブランド力の向上を推進します。

#### 情報産業振興の取り組み 1,104万円

情報政策官による経営相談などを実施するとともに、ITに関する新商品・新技術の開発に補助金を交付します。

#### 創業の支援 617万円

関係機関に創業・経営相談事業や創業塾事業に係る経費を補助し、連携して創業支援を行うとともに、創業者には、広告宣伝費や家賃およびコワーキングスペース利用料の一部を補助します。

#### 廃炉産業の創出に向けて 136万円

原子力発電所の長期にわたる廃炉工程を新たな産業の創出に結び付けるため、産学官で構成する勉強会において調査研究を行います。

#### 企業誘致に関する取り組み 602万円

柏崎フロンティアパークの分譲・賃貸の完了に伴い、新たな企業誘致の受け皿となる産業団地の適地調査を行います。

## ■新型コロナウイルス感染症対策事業

### 【新規事業】

#### 感染者などへの支援 506万円

自宅療養されている方などに1週間分の食料品などを自宅にお届けします。

### 【継続事業】

#### 新型コロナウイルスワクチン接種の実施

3億5,255万円

医療関係者の協力によりワクチンの接種体制を整え、希望する方にワクチン接種を行います。



## ■人材育成・確保

### 【新規事業】

#### 看護学校入学生への支援 500万円

看護学生の支援を通じ、市内病院などの看護師確保を促進するため、新潟病院附属看護学校の入学生に入学祝い金を支給します。



### 【拡充事業】

#### U・Iターンの促進 3,639万円

県主催セミナーなどに参加し、移住を考えている方への情報提供や情報収集を行います。また、移住した方に住宅家賃などの補助金を交付します。



#### 医師確保の取り組み 65万円

臨床研修医の確保を支援するため、研修医確保イベントに参加するとともに、臨床研修病院が負担する留学や研修経費に対する補助金を交付します。

### 【継続事業】

#### 地域おこし協力隊の定住支援 142万円

都市部などから地域おこし協力隊として移住してきた人材が、任期終了後に起業、事業承継、就業などで柏崎市に引き続き住み続けることに対して、企業・事業承継、賃貸住宅の家賃の費用を支援します。

#### 防災意識の向上を支援 579万円

防災出前講座や防災士フォローアップ研修、地区防災計画作成の技術的支援などを通じて、地域の防災意識向上と具体的な防災活動に向けた事業を行います。また、中越沖地震メモリアル防災教育推進事業と連携し、地域防災力向上を図ります。

#### 障がい福祉従事者の人材確保・育成を支援 251万円

安定した障がい福祉サービスを提供するため、障がい福祉施設で働く人材の確保および職場への定着を図る取り組みに補助金を交付します。

#### 介護従事者の人材確保・育成を支援 4,759万円

安定した質の高い介護サービスを提供するため、介護事業者が行う職員のスキルアップ、夜勤従事者の処遇改善、職場定着を図る取り組みに補助金を交付します。

#### 介護職員の就職を支援 360万円

介護職に関する資格をお持ちの方が、新たに市内介護事業所または病院に勤務する場合に補助金を交付します。

#### 看護師の就職を支援 2,370万円

保健師、助産師、看護師、准看護師の資格をお持ちの方が、新たに市内の病院、訪問看護ステーション、介護施設、障がい児者の入所施設に勤務する場合に補助金を交付します。

#### 青年等就農者への支援 681万円

今後の地域の中心となる満50歳未満の独立経営者に、認定審査会で青年等就農計画などの承認を受けることを条件として、年間最大150万円の活動資金を交付します。

#### 農業法人などによる人材育成を支援 266万円

農業法人などが、新たに雇用する就農者を対象に実施する技術習得のための研修費の一部を補助します。

#### U・Iターン者の新規就農への支援 90万円

新規就農に必要な農地購入費・借地料などの経費を補助します。

#### 林業従事者の確保・育成を支援 1,368万円

森林整備の担い手の中心である柏崎地域森林組合の新規雇用の促進を図るため、補助金を交付します。

#### 漁業就業者への支援 240万円

新しく漁業を始める方、漁船購入者に、初期段階での経営支援を行うため、補助金を交付します。

# 令和4(2022)年度柏崎ふるさと応援基金の活用事業

毎年、柏崎市を応援して下さる方々から多くのご寄付（ふるさと納税「ふるさと応援基金」）をいただき、感謝申し上げます。

皆さまからいただいたご寄付は次の事業に大切に活用します。



単位：万円

使い道	充当事業	予算額	寄付金充当額
人と自然にやさしい エネルギーのまちづ くりのために	次世代エネルギー活用推進事業	4,478	1,300
	地球温暖化対策推進事業	216	100
	低炭素型設備機器導入補助事業	724	400
	事業構造強化促進事業	15,400	3,000
	住まい快適リフォーム事業	5,660	3,081
子どもたちのために	大学との連携・協働事業	1,556	350
	路線バス等確保事業	14,820	2,800
	英語教育推進事業	3,350	1,000
	指導補助事業	12,178	2,500
	情報機器管理費	20,094	7,500
若者と女性のために	水球のまち柏崎推進事業	2,105	400
	地域イントラネット事業	2,825	500
	子どもの医療費助成事業	20,477	2,600
	柏崎産米ブランド化推進事業	1,924	393
	新たな海の柏崎モデル事業	1,499	350
市長におまかせ	都市公園管理事業	6,945	355
	庁舎管理費 (公共施設展示用絵画購入費)	18,440	2,000
	ぎおん柏崎まつり事業	4,314	1,000
豪雪災害復旧支援	えんま市花市運営事業	2,399	1,000
	除雪施設管理費	287	147
合計		139,699	30,777

※千円以下を切り捨てた金額を表記しています。

※端数処理の関係で計算結果に相違があります。



令和4(2022)年度予算の詳細は  
市HPをご覧ください

## 市の予算をデジタル化「デジタル予算書」



予算の計画・実行・評価を  
確認できます

▶ デジタル予算  
書HP

